

テーマは“冬鳥”と“混群” 「野鳥観察会（冬鳥編）」参加者募集

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】では、11月30日（日）に「野鳥観察会（冬鳥編）」を開催します。冬の渡り鳥“冬鳥”と一年を通じて見られる留鳥（りゅうちょう）が一緒に行動する「混群（こんぐん）」に注目し、園内の見どころを歩きながら観察。鳥に詳しい公園サポーターがやさしくガイドするため、初めての方やお子さま連れでも安心してご参加いただけます。

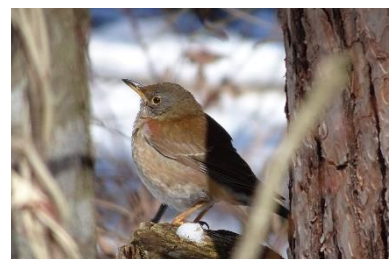


過去の実施状況（2023 年 12 月 17 日）

◆初心者安心の観察会

冬に向けて落葉が進み、視界が開ける今は野鳥観察に最適なシーズン。開園前の静かな園内で、冬鳥と留鳥の行動をじっくり観察できる特別な体験を提供します。会場には望遠鏡を用意し、参加者が交代で利用可能。双眼鏡をお持ちでない方や初心者でも安心してご参加いただけます。

- 開催日：令和7年11月30日（日）※小雨決行、荒天中止
 - 時 間：8:30出発（所要時間約3時間）
 - 場 所：インフォメーションセンター（集合）
 - 持ち物：双眼鏡、野鳥図鑑またはハンドブック。 ※双眼鏡の無料貸出あり。
 - 対 象：小学生以上
 - 定 員：先着15名（事前申込）
 - 参加費：無料（別途入園料必要）
- 野外での観察会になりますので、防寒対策を行ってご参加ください。



シロハラ（冬鳥）

◆冬鳥の魅力を発見

繁殖期を北方などで過ごし、冬のあいだ餌や過ごしやすい気候を求めて日本に渡来する“冬鳥”。観察会では、胸の斑点と警戒時の直立姿勢が特徴の「ツグミ」や、落ち葉をはね上げて餌を探す仕草が特徴的な「シロハラ」、オレンジ色の胸と白斑の翼が鮮やかな「アトリ」などの観察が期待できます。

◆混群で識別練習

混群は、複数種の小鳥と一緒に群れを作り、警戒や採餌効率を高める行動です。混群は観察機会が多く、識別練習にも最適。日本最小のキツツキ「コゲラ」や、橙色の腹が特徴で、木の実を蓄える賢さで知られる「ヤマガラ」、つぶらな瞳と小さなくちばしに長い尾が愛らしいエナガなどが観察できます。



コゲラ（留鳥）

Information

カラマツの黄葉が
「色づき始め」となりました

お問い合わせ

アルプスあづみの公園管理センター 大町・松川地区 企画運営担当：足立・尾澤
〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL:0261-21-1212 FAX:0261-21-1214
https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/ 公園公式SNSもご覧ください



Instagram

Facebook